

オーシャンライフ膨張式救命胴衣 取扱説明書

2013年改正

型式承認試験基準適合品

N o	膨張装置	品名	型式
①	自動膨張式	作業用兼小型船舶用	WR－1型
②	手動膨張式	小型船舶用	WR－3型

当取扱説明書では、WR－1型・WR－3型の2型式
を説明しております。ご購入頂いた、製品の型式をご確認の上、
型式別に内容をお読みください。

改正 2023年4月

- - 目次 - -

※安全にご使用頂くための注意事項	3 P ~ 5 P
1・商品概要及び構造	
(1) 概要	6 P
(2) 構造 救命胴衣本体	6 P
自動膨張装置	7 P
空気注入バルブ	8 P
2・使用前の点検	
● 点検要領	9 P
3・使用方法	
(1) 着用方法	10 P
(2) 膨張方法	11 P
(3) 日常の手入れ方法及び商品を丸洗いする場合	12 P
(4) 自動膨張機能作動後のカートリッジの交換方法	12 P ~ 13 P
(5) 作動後のガスボンベの交換方法	14 P ~ 15 P
(6) 膨張装置の部品について	16 P
4・救命胴衣の収納時の折りたたみ方	17 P
5・保管	
● 保管方法	18 P
6・交換の目安	
(1) 救命胴衣本体	19 P
(2) 膨張装置	19 P
7・定期点検整備基準	20 P ~ 22 P
8. 保証書	23 P

安全にご使用頂くための注意事項

※ご使用の前に、必ずお読みください。

この取扱説明書は製品を安全に正しくご使用頂くためのものです。
取扱説明書はいつでも読めるように大切に保管してください。

本書では正しい取扱に関する事項を下記のマークで表示しています。



危険

危険：取扱いを誤った場合に死亡または重傷に至る可能性が想定される場合。



警告

警告：取扱いを誤った場合に重傷に至るまたは物的損害などの可能性が想定される場合。



注意

注意：正しい使い方についてのポイントを示しています。



危険：取扱いを誤った場合に死亡または重傷に至る可能性が想定される場合。

◎膨張式救命胴衣の着用者は年齢が１２歳以上でなければなりません。

◎膨張装置を作動させた場合は使用しないでください。

膨張装置を一度作動させると、ガスボンベ内のガスが無くなり再使用できません。この場合はご購入された店か最寄りの販売店にてガスボンベを購入し、交換してから使用してください。

（本誌１４～１５ページ参照）

◎自動膨張装置が水などに濡れると、カートリッジ内部の部品が水に反応し再使用出来ません。（WR－１型の説明）

この場合は、ご購入された店か最寄りの販売店にてカートリッジを購入し、交換してから使用してください。（本誌１２～１３ページ参照）

◎突起物や鋭利な物（針が付いている物・ボールペン・ハサミなど）は着用前に身体から取り外してください。
気室生地を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。

◎膨張式救命胴衣は衣服の上に正しく着用してください。

衣服の下に着用すると、膨張時に胸が圧迫され呼吸が困難になり、着用者が怪我をする恐れがあり危険です。

◎膨張式救命胴衣は、急流時・高波時・水上スキー・PWCなどの着用者が常に濡れている状態及び高速を伴う活動での使用はやめてください。

◎着用する前に、バックル・各ベルト部が破損していないか確認してください。落水時、救命胴衣が身体から外れる恐れがあります。

◎着用する前に、膨張装置が装着されているか、未使用のガスボンベが正しく取り付けられていることを確認してください。

◎膨張式救命胴衣を膨張させた状態で、水中に飛び込まないでください。
救命胴衣が身体から外れる恐れがあり危険です。やむを得ず飛び込む場合は両手で救命胴衣を抱きかかえ、しっかりと身体に固定してから飛び込んでください。

◎水中に浮いている場合は膨張式救命胴衣を破損する恐れのある物には近づかないでください。気室を傷つけ、気室内のガスが漏れ危険です。

- ◎膨張式救命胴衣の取扱時は火気厳禁にしてください。
気室生地は、ポリウレタン加工した引布で作られていますので火気に近づけると気室生地に穴があき救命胴衣が膨張しない恐れがあります。
- ◎１年に１回、定期的な点検をご購入された店か販売店を通じて製造会社に依頼することをおすすめします。（本誌９ページ参照）
- ◎救命胴衣は改造などしないでください。その場合、国土交通省型式承認認定品ではなくなります。
- ◎自動膨張式ライフジャケットは、落水時に水を検知する事により膨張する仕組みとなっておりますが、当該機能はあくまで補助的なものがあります。この為、海上に脱出する場合や、万一落水された場合は、まず手動レバーを引いて膨張させるようお願い申し上げます。



警告

警告：取扱いを誤った場合に重傷に至るまたは物的損害などの可能性が想定される場合。

- ◎膨張式救命胴衣は救命用ですので他の用途に使用しないでください。
- ◎着用する前に、気室が膨らんでいないことを確認し、膨らんでいる場合は、ガスボンベからガスが漏れている場合があります。
この場合、必ず膨張装置からガスボンベを外し、ボンベの封板に穴や亀裂がないか確認してください。（本誌１４～１５ページ参照）
- ◎着用時のサイズ調節はウエストサイズに合うよう各ベルトを調節してください。あまったベルトはベルト通しに固定してください。
（本誌１０ページ参照）
- ◎膨張式救命胴衣を単体で運搬移動する時は、決められた方法（本誌１７ページ参照）で折りたたんでください。
また、荷物などの下に置かないでください。
破損・劣化などの原因になります。
- ◎保管場所は、自動車内・船内などの高温多湿の場所を避けオイル・燃料・溶剤などのそばに置かないでください。（本誌１８ページ参照）
- ◎膨張式救命胴衣は所有者が責任を持って点検・整備してください。
（本誌９ページ及び２０～２２ページ参照）

1・商品概要及び構造

(1) 概要

- ・ 気室は、ナイロン生地にウレタン加工した引布で作られ、膨張後の浮力は（WR－1型で約20kgf・WR－3型で約10kgf）です。（水中での必要浮力は、一般的に陸上体重の1／10といわれています）
- ・ 自動（WR－1型）又は手動で膨張できるように作られています。
- ・ 海上で発見しやすいように救命胴衣の気室の色は黄色になっています。
- ・ 夜間発見がしやすいように、再帰反射材が取り付けられています。
- ・ 救命用の呼笛が取り付けられています。
- ・ 気室の裏側には、カバー生地が有り収納時、気室の破れ、汚れなどを保護するようになっています。

(2) 構造（写真はWR－1型）

A・通常着用時



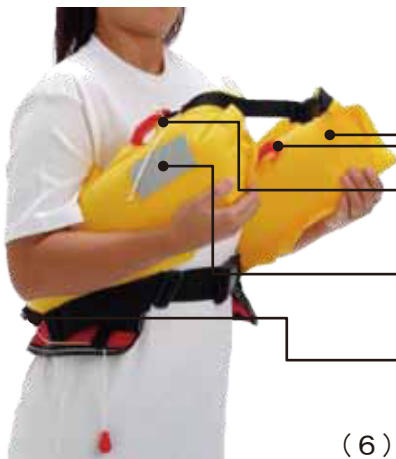
気室カバー

装着部は通気性の
良いメッシュ素材

バックル&ベルト

手動レバー

B・膨張時



気室

送気口管

呼笛

再帰反射材

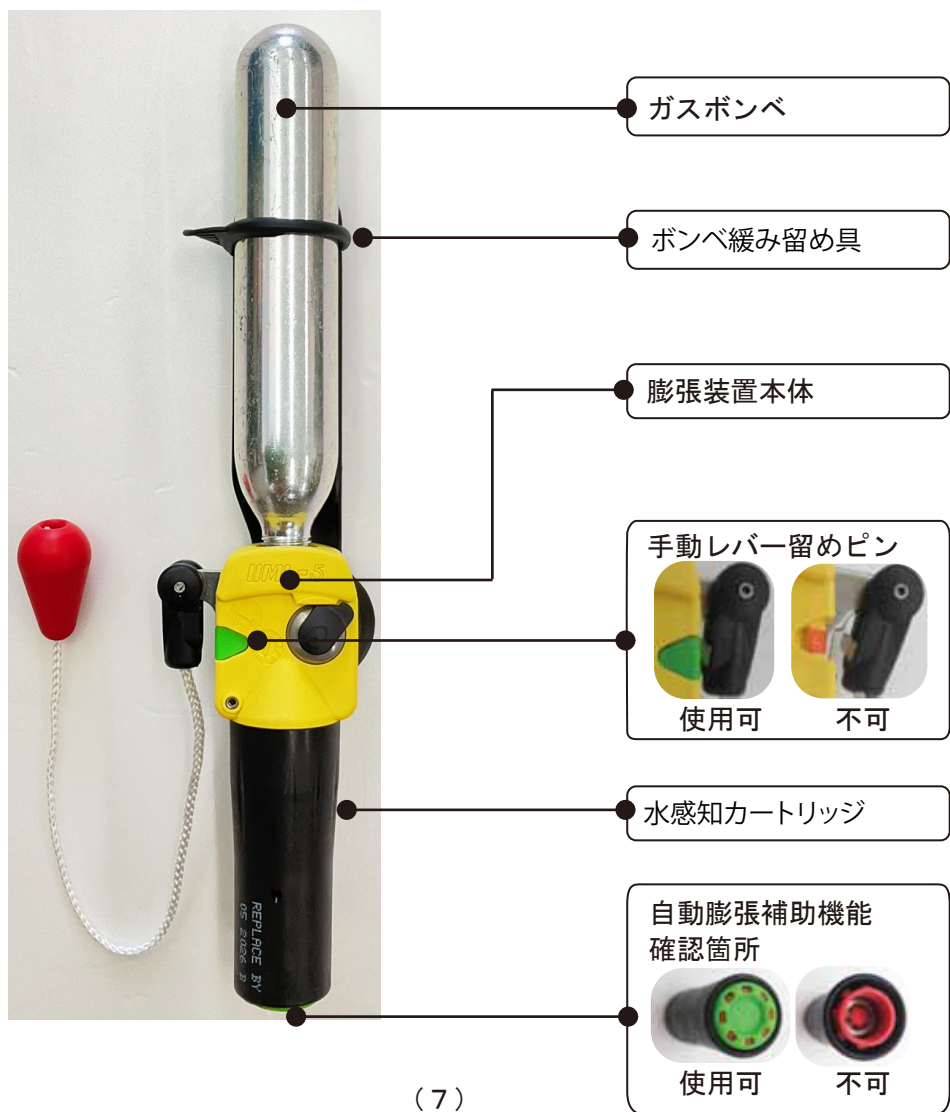
膨張装置

C・自動膨張装置（WR-1型の説明）

この装置は水中に落水しカートリッジに水が入ると作動し炭酸ガスが気室内に充気されるようになっています。

万が一落水時に膨張装置が作動しなかった場合は、緊急手動レバーを強く引くことで膨張装置が作動し、気室内に炭酸ガスが充気され膨張します。

※自動膨張補助機能確認箇所を確認する事により、自動膨張機能が作動したことを確認出来るようになっています。



D・空気注入バルブ

このバルブは、気温・水温などの環境変化により気室の内圧が低下し十分な浮力が得られなくなった時、気室に空気を補充するための物です。また、空気を気室から排気する時にも使用します。

●空気の補充

下記のように息を吹き込み空気を補充します。



●空気の排気

気室内の空気を排気する時は、キャップを外し空気注入バルブの先の中部分を押し込むと空気が排気されます。



危険

気室を膨張させた後は、気室内の空気を完全に排気してください。気室内に空気が残っていると炭酸ガスで膨張した時、気室が破裂する恐れがあります。

2・使用前の点検

この救命胴衣を安全に使用するために、必ず以下の点について点検し異常がある場合は使用をしないでください。

●点検要領

- A・気室及びカバー生地が破損していないか
- B・縫製部分の糸のホツレ及び糸切れがないか
- C・収納用マジックテープ（WR-1型及びWR-3型）が破損していないか
- D・手動レバーがすぐに引ける状態であるか
- E・各部ベルト及びバックルが破損していないか
- F・気室内に空気が入っていないか
- G・空気注入バルブが破損していないか
- H・膨張装置及び未使用のガスボンベが装備されているか
- I・ガスボンベの封板にキズ及び穴が開いていないか
- J・ガスボンベのネジこみが緩んでいないか
（本誌 15ページ参照）
- K・自動膨張機能確認箇所の使用可能表示（グリーン）が確認できるか
確認出来ない場合、自動膨張機能が作動したことが
想定されますので使用せず、カートリッジ・ボンベの交換、
膨張装置の破損の確認をしてください。
（WR-1型の説明）（本誌 12～13ページ参照）



警告

上記、A～K の異常を発見したときは、使用をやめ
ご購入された店か 最寄りの販売店を通じて、弊社
に連絡の上、点検・修理 を受けてください。
そのまま使用すると危険を招く恐れがあります。

点検・修理連絡先

株式会社オーシャンライフ

〒644-0003 和歌山県御坊市島字一里山441番地2

TEL 0738-23-4616

FAX 0738-23-2650

ocean@lifejacket.jp

3・使用方法



警告

突起物や鋭利な物（針が付いている物・ボールペン・ハサミなど）は着用前に身体から取り外してください。気室生地を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。

（１）着用方法

- ①本体のカバー生地に付けられている
右記マークを確認していただき文字が
正しい方向になるようにしてください。



- ②手動膨張作動ヒモ（赤い丸の付いたヒモ）を右手側にし製品裏側
（黒色メッシュ生地側）を腰回りに当て、バックルを体の前で止めて
ください。

注意：救命胴衣本体は腰側・バックルは体の前側になるよう着用して
ください。

- ③腰ベルトは救命胴衣着用後、サイズ調節できるようになっています。
ベルトの末端は垂れ下らないようベルト通しに入れ気室カバー内に
収納してください。

①



②



③



(2) 膨張方法

①WR-1型（自動式）には自動膨張装置が装着されています

自動膨張装置は水を感じし救命胴衣を膨張させます

②WR-1型・WR-3型を手動で膨張させる時はまずは左手で救命胴衣本体の左端を強く握り固定してください。

次に右手で膨張装置に取り付けられているヒモ（赤い丸の付いたヒモ）

を体から前側に引いてください。その時、左手は離さず固定してください。

注意：下側に引くと膨張装置が作動しない場合がありますので必ず、前側に引いてください。

③膨張が不十分な場合は呼気注入口から空気を注入してください。

(3) 膨張後の使用方法

①着用した状態で気室にガスが充満するとU型に膨張します。

膨張初期は腰の位置に気室がありますので出来るだけ脇の下に気室が来るように上に引き上げて着用して下さい。

②気室の両端に有る前止めベルトのバックルを止めてください。

③少し仰向け状態で浮遊し、体が気室から抜けないように脇を締めてください。

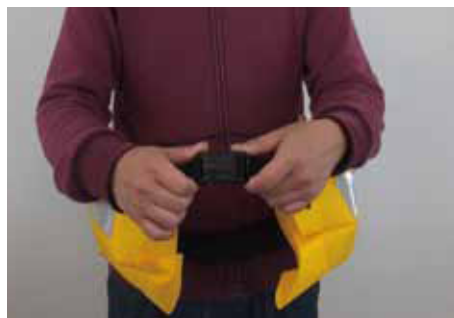
A



B



C



D



(3) 日常の手入れ方法

- ①カバー生地に汚れ及び海水による塩分等が付いている場合、自動膨張装置に水が入らないように注意して真水で洗い流してから陰干し十分乾燥させてください。
- ②汚れが付いた時は、ガーゼなどに中性洗剤を浸し、軽く叩くようにして洗浄し、真水を浸したガーゼで洗剤を取り去り、陰干して十分乾燥させてください。



注意

注意：正しい使い方についてのポイントを示しています。

- 洗濯機で洗ったり、もみ洗い・乾燥機で乾かすなどをすると気室生地のパウレタン引布に亀裂が入る恐れがありますので避けてください
- 洗剤にガソリンなどの溶剤は使用しないでください。また洗浄の際に自動膨張装置には水をかけないでください。自動膨張機能が作動する恐れがあります。
- どうしても丸洗いする時は、ガスボンベ及びカートリッジを取り外した状態で洗浄してください。ガスボンベ及びカートリッジの取り付け及び取り外し方は本誌12～15ページを参照してください。(WR-1型の説明)

(4) 自動膨張機能作動後のカートリッジの交換方法

(WR-1型の説明)



注意

注意：正しい使い方についてのポイントを示しています。

- カートリッジを交換する時は、膨張装置本体のカートリッジ挿入部分を良く乾燥させてください。水分が残っているとカートリッジ内部に水が浸入し、自動膨張機能が作動し、ガスが放出する場合があります。

- ①使用済みのガスボンベを回し取り外す(型式別にガスボンベの大きさが異なります)(写真はWR-1型)



②使用済みのカートリッジを取り外す



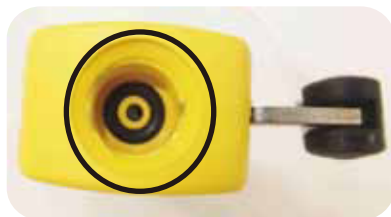
③未使用のカートリッジを取り付ける



④留めピンを取り付ける



⑤カートリッジ及び留めピンが正常に取り付けられているか確認する



グリーン2箇所とガスボンベ取付け部より針が出ていないことが
目視により確認できます

(5) 作動後のガスボンベの交換方法



注意

注意：正しい使い方についてのポイントを示しています。

- ガスボンベ取り付け部内の針が上に出ている状態では新しいガスボンベを挿入しないでください。挿入するとガスが放出されます。

①ライフジャケット本体記載の型式名別にガスボンベの容量が異なりますので下記の内容をご確認下さい。

- 型式名：WR－１型 浮力２０ｋｇタイプ
ガスボンベ本体に下記の表示が有る物をご使用下さい。

「NW33G CO2」

- 型式名：WR－３型

浮力１０ｋｇタイプ

ガスボンベ本体に下記の表示が有る物をご使用下さい。

「CO2 17G」

②使用済みのガスボンベを回し取り外す

自動膨張装置「NW33G CO2ガスボンベ」



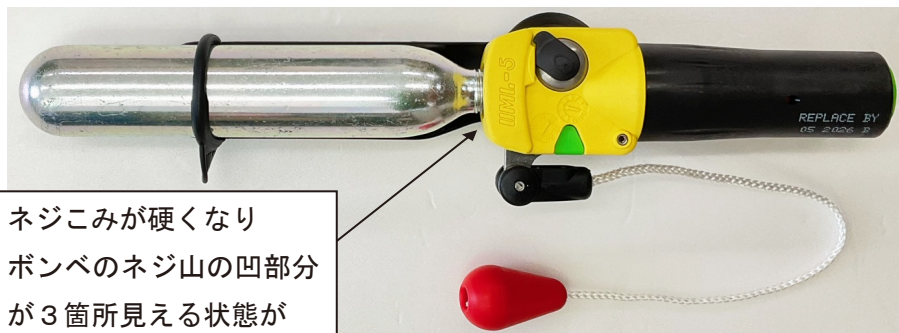
手動膨張装置「CO2 17Gガスボンベ」



③未使用のガスボンベを取り付ける

※ネジこみが少し硬くなったところから更に1/4～1/2回転ネジこんで下さい。

※過度にネジこむとボンベ底に針が当たりキズを付けるので注意して下さい。



ネジこみが硬くなり
ボンベのネジ山の凹部分
が3箇所見える状態が
正常です。

④注意事項

- ・自動膨張式ライフジャケット

型式名 : WR-1 型の場合

カートリッジ及びガスボンベの両方を交換する時は最初に

カートリッジを交換した後にガスボンベを交換してください。

- ・手動膨張式ライフジャケット

型式名 : WR-3 型の場合

ガスボンベのみ交換をしてください。

カートリッジの交換は不要です。

(6) 膨張装置の部品について

●膨張式ライフジャケットの交換用部品について

お手持ちの交換用部品と製品の型式名・製造年月をご確認下さい

2015年3月迄の製造品、

旧基準品には右の膨張装置
を使用しております。



2015年4月以降の製造品、

新基準品には右の膨張装置
を使用しております。



(2013年10月基準改正)

交換ボンベセット一覧		
適応型式	旧基準品	新基準品
WR-3	17gガスボンベ ゴムパッキン 留めピン	17gガスボンベ 留めピン
型番	K-M10	UMK-M17G
WR-1	33gガスボンベ スプール ゴムパッキン 留めピン	33gガスボンベ カートリッジ 留めピン
型番	K-A20	UMK-A33G

4・救命胴衣の収納時の折り畳み方

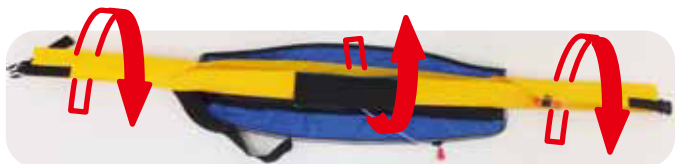
①気室内の空気を完全に排気し、平らに広げてください。



②上側に半分、折りたたんで下さい。



③膨脹装置が上側に来る様にもう一度折りたたんで下さい。
両端に出ている生地もたたんで下さい。



④左右のベルトと気室生地との縫製部を起点に折りたたんで下さい。



⑤気室をカバー生地で包むようにし、マジックテープを止め
手動レバーが外側に有るか確認して下さい。



5・保管



警告

警告：取扱いを誤った場合に重傷に至るまたは物的損害などの可能性が想定される場合。

- 保管場所は、自動車内・船内などの高温多湿の場所を避け燃料・溶剤などのそばに置かないでください。

●保管方法

- A・直射日光の当たる場所を避けてください。
- B・換気が良く乾燥した場所に保管してください。
- C・暖房装置の近くなど、高温の場所に置かないでください。
- D・他の物の下積みになる場所は避けてください。
- E・ネズミの害のある場所は避けてください。
- F・炭酸ガスボンベは温度40℃以下の場所に保管してください。
- G・自動車内・船内などの密封された場所に長時間保管するのは避けてください。



注意

注意：正しい使い方についてのポイントを示しています。

- 洗濯機で洗ったり、もみ洗い・乾燥機で乾かすなどをするとう室生地のパリウレタン引布に亀裂が入る恐れがありますので避けてください。
- 洗剤にガソリンなどの溶剤は使用しないでください。また洗浄の際に自動膨張装置には水をかけないでください。自動膨張機能が作動する恐れがあります。
- どうしても丸洗いする時は、ガスボンベ及びカートリッジを取り外した状態で洗浄してください。ガスボンベ及びカートリッジの取り付け及び取り外し方は本誌12～15ページを参照してください。(WR-1型の説明)

6・交換の目安

(1) 救命胴衣本体

救命胴衣の気室及びカバー生地に以下のような状態が発生した場合、修理不能の状態のため交換してください。

- A・気室が破損しているとき。
- B・空気注入バルブが破損しているとき。
- C・カバー生地が破損しているとき。
- D・その他、製造会社が救命胴衣の破損部を修理不可能と認めたとき。

(2) 膨張装置

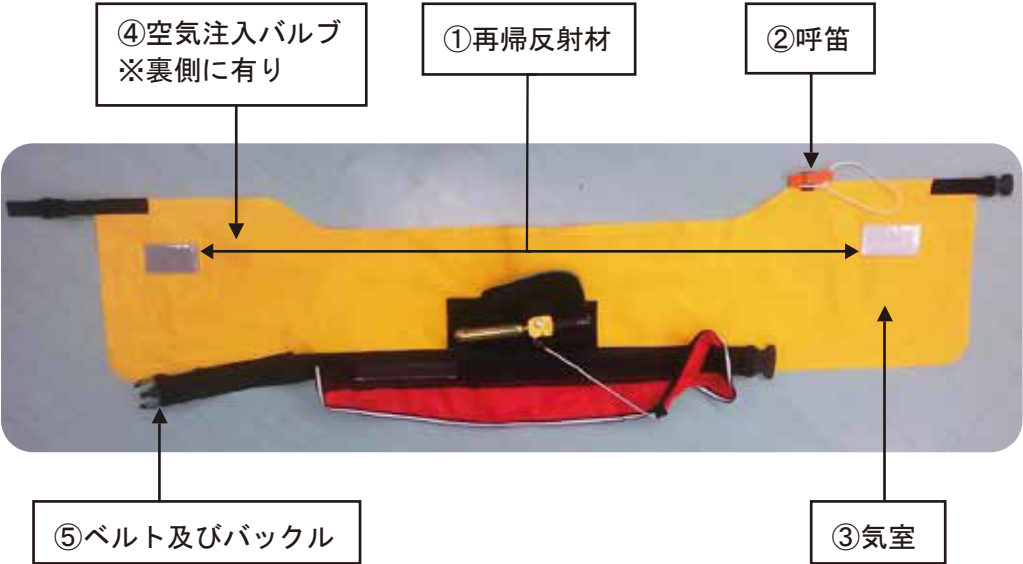
ガスボンベ及びカートリッジ（WR－1型のみ）は以下のような場合交換してください。

- A・救命胴衣を膨張装置で膨張させたとき。
- B・ガスボンベに錆び・傷等有るとき。
- C・カートリッジ側面に記載している日時が近いとき。
- D・その他、製造会社が膨張装置の破損部を修理不可能と認めたとき。

7・定期点検整備基準

(1) 本体の外観点検

●救命胴衣本体のマジックテープを全部開き下記のように広げ、写真と救命胴衣本体を確認し①～⑤の箇所を点検する。	
点検箇所	合 否 基 準
①再帰反射材	はがれや破損がないこと
②呼笛	破損がないこと
③気室生地	破損・汚れ等がないこと
④空気注入バルブ	破損がなく逆支弁が正常に動作すること
⑤各部生地・ベルト及びバックル類	破損がないこと



(2) 自動膨張装置点検

- ガスボンベを取外し下記の写真と膨張装置を確認し
下記⑥～⑧の項目を点検する。

点検箇所	合 否 基 準
⑥ガスボンベ	ネジ山部底面に穴が開いていないこと
	LG-1型はMIN. GR. WT、 LG-3型、RE-5型はGWの重量があること
⑦手動レバー	緑色の留めピンは取付られていること
	手動レバーのヒモに破損等が無いこと
⑧自動膨張機能 (自動式のみ)	カートリッジに印字されている交換期限を 過ぎていないこと
	自動膨張機能確認箇所に下記写真のように グリーンのキャップがあること



⑥ガスボンベ



MIN. GR. WT [重量]
GW [重量]

⑦手動レバー



⑧自動膨張補助機能



(3) 気室生地点検

- ⑨ 空気注入バルブから常用圧力 10 kPa の空気を入れ 12 時間以上
放置し破損はがれ・その他の異常が無いかを検査する

製造年月			
製造番号			
点検箇所	合否判定	合否判定	合否判定
①再帰反射材			
②呼笛			
③気室生地			
④空気注入バルブ			
⑤各部生地・ベルト及びバックル類			
⑥ガスボンベ			
⑦手動レバー			
⑧自動膨張機能			
⑨気室生地膨張			
整備内容			
ガスボンベ交換 有無			
カートリッジ交換 有無（自動式）			
その他部品の 交換			
備考			